コロナ下の生活と囲碁集会

石川囲碁同好会　松本健彦

コロナが八王子市でも増えていますが、皆さん元気にお過ごしですか?　半年以上、外出の機会も減り、運動不足を気にしたり、そのために肥満が不安な方もおられると思いますが、　散歩が一番です。

私も都内の囲碁会等半年以上一切参加していませんが、石川囲碁同好会だけは、市民センターの利用再開後、7 月から週に 2~3 回会開かれ、参加しています。会を開くにあたり、役員がセンターと十分打合せ、以下の万全の体制で行われており安心です。

1. 参加者 1 人/4m2 下の条件で広い部屋を使用（高費用）と換気
2. マスクは必須(無い人は入室禁止)：うつさないと
   フェースマスク着用または中央簡易仕切り板の使用：うつらない
3. 入室･退室時にアルコール消毒、出席名簿の確実な記録などです。

また、リタイア組はまだ活動が不十分で、インターネットの囲碁の見学や対局もされていると思いますが、私も棋院の幽玄の間でたまに打ちます。しかし、囲碁は面と向かって若干雑談しながら打つ方が楽しいですね。

また、役員方のご苦労により、オンラインの囲碁講座も行われているようですが、八碁連の仲間とインターネットで囲碁を打てるとまた楽しいと思います。どなたか検討願え、実現したら多謝。日頃の雑念を書きましたが、皆さんと早く、東浅川で囲碁を楽しめる日を楽しみにしています。

　読書も楽しいですね。"天地明察”という著書を紹介します。　お城碁で有名な本因坊家の相方安井家二代目算哲/渋川春海の生涯が述べられており、幕府の命で全国を測量し、天文学と暦を確立した人物です。江戸時代にこれほど数学、天文学や暦が進歩していたのが驚きでした。また、若き日に本因坊道策との囲碁で初めて初手を天元に打ったことでも有名だそうです。面白い書籍があれば教えてください。　　以上

2020 年 11 月